

2月・3月 予定表	1
1月例会出席者・1 2月山行実績・山行コメント	2
第27回ふれあいまつり	3
山行案内（2月・3月・4月）	4～6
山行報告	
・ 日和田山・御岩山（菅谷）	7
・ 八丈島忘年山行（四元）	8～10
・ 金時山（伏見）	11
・ 北八ヶ岳ミニ縦走（蓮見）	12
・ 三浦アルプス（佐藤）	13
・ 高尾山（村田・伏見）	14～15
昭和村便り（7）（井上順）	16
短歌 1月を振り返って（羽鳥）	17
思い出の山（山岡）	18
ちょっと一言（山岡・前田延）	19～20

表紙写真紹介

石切山脈

水戸線稲田（笠間）の近くにあり、日本最大の白い御影石の採石場です。この石は東京駅、国会議事堂、最高裁判所などにも使われているそうです。砕石後に雨水がたまり地図にない湖と言われるそうです。予約をすれば案内してくれます。

～八巻 幸子～

会報部からのお願い <表紙写真>

3月号は小林和子さん、4月号は伏見純子さんです。

その際、100字程度の紹介文を添えて、前月20日までに、会報部（桐生）へ提出して下さるようお願いいたします。

2月・3月予定表

日	曜日	2月	日	曜日	3月	
1	木		1	金		
2	金	鍋倉山（一泊二日）	2	土	県連 総会	
3	土			3	日	勝浦を歩く（雛祭りハイク）
4	日			4	月	
5	月		5	火		
6	火		6	水	山行部会（18：00～20：00）	
7	水	山行部会（18：00～20：00）	7	木		
8	木		8	金		
9	金		9	土		
10	土	宝登山	10	日	例会（14：00～16：00）学1	
11	日	例会（14：00～東初富公民館）	11	月		
12	月	振替休日（建国記念の日）	12	火		
13	火		13	水		
14	水		14	木		
15	木		15	金		
16	金		16	土		
17	土	公民館ふれあい祭り	17	日		
18	日			18	月	
19	月		19	火		
20	火		20	水	春分の日 運営委員会	
21	水	運営委員会	21	木		
22	木		22	金		
23	金	天皇誕生日	23	土	三轟山	
24	土		24	日		
25	日		25	月	編集会議（10：00～12：00）	
26	月	編集会議（10：00～12：00）	26	火		
27	火		27	水	隅田川ウォーキング	
28	水		28	木		
29	木		29	金	身延山	
			30	土		
			31	日		
<p>2024年4月山行予定</p> <p>★4/5（金）神成山</p> <p>★4/13（土）権現山・弘法山・吾妻山 ウォーキング</p> <p>☆5/14（火）千葉県連ウイークディ山行 岩間アルプス</p>						

1月例会出席者

2024/1/14

42名

司会 加藤

手塚、安彦、松本、加藤、岡部、桐生、村上、八巻、小林、伏見、前田延、山岡、村田、入江、間瀬、鈴木か、五十嵐朝、四元、江崎、三橋、石塚、嶋本、猪狩、羽鳥、井上勝、山脇、赤塚、菅谷、山口、蓮見、菅原、清水、畑中、金子、笹、岡登、岡田、伊藤、富永、富田、吉留と、吉留政

2023年12月山行報告

月件	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
1	三浦富士(みうらふじ)ウォーキング下見	ウ	12/3	個	2	山岡、山脇
2	三轟山(みかもやま)・青龍ヶ岳(せいりゅうがたけ)下見	ハ	12/3	個	2	山口、小林
3	日和田山(ひわだやま)クライミング講習	岩	12/7	個	5	菅谷、安田、江崎、蓮見、金子
4	三浦(みうら)アルプス下見	ハ	12/9	個	5	前田延、小林、伏見、五十嵐朝、江崎
5	忘年山行:『八丈富士(はちじょうふじ)』と『三原山(みはらやま)』	ハ	12/11~14	会	21	安彦、加藤、桐生、八巻、前田延、間瀬、四元、鈴木か、江崎、石塚、嶋本、菊池、猪狩、清水、羽鳥、井上勝、山脇、山口、畑中、柳、岡登
6	高水三山(たかみずさんざん)	ハ	12/17	個	4	羽鳥、清水、柳、熊谷
7	金時山(きんときさん)	ハ	12/23	個	6	桐生、伏見、江崎、嶋本、山脇、伊藤 (千葉中央バスツアー)
8	高見石(たかみいし)・縹枯山(しまがれやま)	雪	12/24~25	個	1	蓮見 (アルパインツアー)
9	御岩山(おいわさん)・神峰山(かみねさん)・羽黒山(はぐろさん)	ハ	12/25	個	4	安田、江崎、嶋本、菅谷

古…古道 ハ…ハイキング ウ…ウォーキング
沢…沢登り 縦…縦走 岩…岩登り 雪…雪山、スキー

 山行コメント

▲ 12/3 三轟山下見【山口】

電車とバスで行きました。以前は花センターまでのシャトルバスがありましたが、もうなくなってしまいました。その為、往路も復路も3時間に1本ぐらいのバスに合わせなければならぬので、どのようなコースが取れるのか心配でした。

実際に歩いてみて、青龍ヶ岳までで引き返さなければバス時刻に間に合わないことがわかりました。会山行では鎌ヶ谷観光バスを利用することになり、かたくりの里から青龍ヶ岳に登り、道の駅みかもまで、通して歩けることになりました。

あとは、お天気とカタクリの時期に合うことを願うばかりです。

第27回ふれあいまつり（令和5年度）

- 2月11日（日） 東初富公民館 12:30～13:30 事務局会議
2月14日（水） 15:00～17:00 事務局員 設営の準備
2月16日（金） 9:30～10:00 全体の設営 事務局 2～3名参加
10:00～12:00 東葛山の会展示の設営 その他参加できる方

開会式 キラリホール

- 2月17日（土） 9:35～9:45 事務局員は9:30までにホール客席に集合
9:45～15:30 ステージ部門
9:00～16:00 出展部門 ロビー・集会室・学習室
2月18日（日） 9:45～15:15 ステージ部門
9:00～16:00 展示部門 ロビー・集会室・学習室

閉会式 キラリホール

- 2月18日 15:15～（最終演者終了後） 参加出来るは方参加してください。
展示部門の撤収 15:30頃 フィナーレ終了後から始める。

東葛山の会の展示内容

2023年の活動の一覧表

写真の展示 忘年山行(伊豆大島、八丈島)・ヒマラヤトレッキング
ウォーキング・会山行・個人山行

ビデオ放映

皆様の参加と協力でふれあいまつりを盛り上げましょう

山行案内

2月の山行予定

* 鍋倉高原 ややきつい山 (☆☆)

日程：2月2日(金)～2月3日(土) 荒天以外は実施

担当：(CL) 菅谷 (SL) 江崎、赤塚

*宝登山(ほどさん) 497m 全会員対象(体☆)

日時：2月10日(土) 集合 上野駅7:30 高崎線3・4番ホーム 雪・雨天中止

担当：(CL) 四元 (SL) 手塚

*鵜原理想郷ウォーキングと勝浦のひなまつり (体☆)

日時：3月3日(日) 集合 鵜原駅 8:52着 雨天中止

※年間計画では2月ですが、事情により3月の山行に繰り下げました。

担当：(CL) 村上、(SL) 三橋・八巻・山岡

3月の山行予定

*三轟山 青龍ヶ岳(229m) ゆるい山(会全員対象) (体☆)

カタクリの花と青龍ヶ岳ハイキングを楽しむ

日程：3月23日(土)

予備日 ・23日と24日両日のバス予約はできません。

・23日雨予想の時、19日(火)に順延決定

・その時点で24日(日)のバスが予約できれば、24日に順延

・バスが確保できなければ、中止

・順延についての件は、19日に参加者にパソコン送信します

往路：バス 鎌ヶ谷市役所6:00⇒羽生PA(休憩)⇒万葉自然公園カタクリの里
8:15

コース：カタクリの里8:40…10:00 青龍ヶ岳…⑰休憩所…⑱休憩所11:00(昼食)…
11:40…カタクリの園…12:30 大田和群生地…トイレあり…あじさいの路…
三轟庭園…南口 道の駅みかも 14:00着

歩程：5時間(休憩時間込)

復路：バス 南口道の駅みかも14:30発⇒蓮田SA(休憩)⇒鎌ヶ谷市役所17:00

山の特徴(危険)：低山であるが、階段や上り下りがある。

アドバイス(装備等)：ストックは持参した方が安全です。

交通費概算：1人 約5000円

交通費詳細：鎌ヶ谷観光バス 約113,000円

その他：昼食持参

担 当：(CL) 山口、(SL) 小林・岡部・畠山

*隅田川 川辺のテラスウォーキング (体☆)

隅田川沿いに作られた遊歩道、川辺のテラスをお花見しながら歩きます。

日 時：3月27日(水) 押上駅8:50着 集合 雨天中止 3/25(月)に連絡

交 通

往 路：新鎌ヶ谷8:28(北総特急西馬込行き)→8:50 押上

復 路：①東銀座14:01(都営浅草線2番印幡日本医大行)→14:47 新鎌ヶ谷

②東銀座14:03→南千住→松戸→新鎌ヶ谷15:09

コース： 押上駅・言問橋・桜橋・吾妻橋・駒形橋・厩橋・蔵前橋・両
国橋・新大橋・清洲橋・隅田川大橋・永代橋・中央大橋・佃大
橋・勝鬨橋・晴海通り舞伎座まで

【歩程】：休憩込5時間

交通費概算：約1500円

その他：昼食 川辺で食べます。

担 当：(CL) 村田、(SL) 八巻・村上

*身延山(1153m) ややきつい〜ゆるい山 (体☆☆)

富士山、七面山、南アルプスの展望と枝垂桜

日 時：3月29日(金) 集合 新宿7:00発 あずさ1号に乗車する事

解散 身延駅 雨天中止(3/27に参加者にメールで送信)

往 路：船橋5:56→6:45 新宿7:00→8:27 甲府8:45→9:36 身延

バス：9:45(山梨交通バス)→9:57 身延山駐車場

復 路：身延山駐車場16:45→16:57 身延

身延17:09(特急ふじかわ9号)→18:03 甲府18:35(あずさ50号)→20:38 船橋

コース：登山口(駐車場10:00~20 日蓮聖人御墓御草庵跡~20 妙石坊~30 松樹庵~30
千本杉~20 追分感井坊~60 奥之院思親閣

※下山はロープウェイを利用し、バスの出発時間まで各自、境内や周辺の桜散策。

【歩程】： 登り(723m、4.0時間強)

山の特徴： 西コース、東コースより時間はかかるが緩やか。 8キロ4.0時間

交通費概算： 約12000円

※3/29の特急券の発売は3/1~ 桜の時期なので早めに購入する

交通費詳細 JRジバンク使用10000円位 バス 往復700円

ロープウェイ(下りのみ) 960円

その他： 昼食1

担 当：(CL) 畑中、(SL) 菊池・猪狩・五十嵐朝、

4月の山行予定

*<富岡アルプス>神成山(かなりやま)ゆるい山 全会員対象 (体☆)

駅から歩いてお花も楽しめるコース

日 程：4月5日(金) 雨天中止の場合4/3(水) メールにて連絡

集 合：高崎駅・上信電鉄8:59 下仁田行きの一両目

解 散：南蛇井駅

往 路：新鎌ヶ谷5:39→5:58 松戸6:06→6:28 上野6:40→8:31 高崎8:59
(上信電鉄・下仁田行き) 9:48 神農原駅着

復 路：南蛇井駅 14:23 50 15:19 16:08 17:35

コース：神農原駅…20 宮崎公園…60 神成山…60 吾妻山…50 南蛇井駅

歩行時間3時間10分をのんびり4時間～5時間で歩く

累計標高差：登り258m 下り263m

費用概算：5200円(松戸～高崎間ジバンク利用)

担当：(CL) 伏見 (SL 桐生・井上順・梅田)

*権現山・弘法山・吾妻山 ウォーキング 体☆

低山、駅～駅ハイキング

日 時： 4月13日(土) 雨天中止 中止の場合は4/11(木) メールにて連絡

集合9:00 秦野駅 解散 鶴巻温泉

往 路： 新鎌ヶ谷6:35→6:54 松戸7:04→7:53 代々木上原7:55→8:24 相模大野
8:26→8:59 秦野

復 路：鶴巻温泉 下山14:03→14:57 代々木上原14:59→15:49 松戸16:00→
16:19 新鎌ヶ谷 次は14:11

コース：秦野駅→20 弘法山公園登山口→40 権現山→20 弘法山→30 善波峠→40 吾妻山
→20 鶴巻温泉

※鶴巻温泉で入浴される方は鶴巻温泉施設で解散(駅より手前にある)

【歩程】：登り(290m)、下り(375m) 累計 3.0時間(休憩含まず)

山の特徴：修行の山と展望 低山の縦走路

交通費概算：3000円

その他：昼食：1 下見：無 入浴：希望者

担 当：(CL) 五十嵐朝、(SL) 柳・井上勝

県 連 関 係 予 定 行 事

・3月2日(土)13:00～18:00

於) 船橋市塚田公民館(東武野田線塚田駅徒歩5分)

第58期(2024年度)&第59期(2025年度) 定時総会

*代議員の方は宜しくお願い致します。

・5月14日(火)

ウィークデー山行

笠間アルプスを歩く(愛宕山～難台山～吾国山)

*詳細は決まり次第お知らせします。

日 和 田 山

日 程：12月7日（木）

参加者：安田、江崎、蓮見、金子、菅谷（記）

クライミング講習の4回目を女岩で行った。現地に着くと男岩から大きな声が聞こえる。団体に練習に来ているようだ。場所を見つけて練習を開始する。何回もやっていると、少しずつ格好になってくる。昼を食べて、再開。やや長くて急な壁に緊張してとりつく。ちょっとした失敗が大きな事故になるので緊張している。もう少しやりたいところだが、山陰になると寒いので終了とする。他のことでも同じだが、場数を経て慣れると落ちついて登れるようになるだろう。

御岩山・神峰山

日 程：12月25日（月）

参加者：安田、江崎、嶋本、菅谷（記）

参考 鎌ヶ谷(5:48)→(6:08)柏駅(6:18)→(6:23)我孫子駅(6:26)→(8:31)日立駅(8:40)バス→(9:08)御岩神社(9:20-9:50)…御岩山(10:25)…神峰山(11:50-12:45)…羽黒山(13:50)…蛇塚(14:30) …鞍掛山(14:50)…かみね公園(15:35-15:40)→タクシー→日立駅(15:55)→柏駅

陽当りの良さそうな山に出かけた。日立市は企業の城下町という感じで、その後ろに広がるのが今回出かけた山である。御岩神社には立派な本社があり、境内には他に万の神さまの社も祭られている。帰りのタクシーの運転手によると、宇宙飛行士の向井千秋さんが飛行船からこの神社から出ている光の柱を見たことで有名になったそうである。それまでは、日立の大煙突が有名だったが、今では首都圏からもパワースポットとしてお参りに来るということだ。緩めの山道の所々で海が見え、日立駅でもガラス張りの展望室から目の前に太平洋が望める。暖かな陽射しと合わせて、年を越すための力をもらった。



2023年八丈島忘年山行 21名

四元記

日程と概要 12月11日(月)～14日(木)

1. 八丈島は東京から約300km離れた島です。
面積：70km²、周囲：約59km(道路1周約57km)、人口：約7100人
2. 宿泊：リードパークリゾート八丈島
3. 船は橋丸 5681トン、全長118m、全幅17m、速力19ノット
船内のデザインは「トリス」でお馴染みの柳原良平さんです。
至る所に彼のイラストが見られます。また、名誉船長です。

11日(月) 22時30分 竹芝出航

12日(火) 8時55分 底土港着

三原山登山とホテル滞在組に分かれる。夜、第1回忘年会

13日(水) 八丈富士登山、島内観光、夜、第2回忘年会

14日(木) 8時30分ホテル発、9時40分底土港出航、19時50分竹芝着

八丈島と言えば、良い方は「黄八丈」、「八丈太鼓」です。悪い方は「島流し」、「鳥も通わぬ八丈島」です。悪い方が印象に残っています。
今回の旅で悪い印象を打ち破られるか楽しみな忘年山行です。

今回の忘年山行は

①遠い距離 300km ②長い期間 4日間 ③高い 6万円

3拍子揃った忘年山行です。

難関を乗り越え船に乗りました。天気予報通り、雨と強風のお出迎え！！
船は揺れて船酔いの人が数人いました。天気は午後には回復の予報。良い知らせではあるが、船を下りる前にカップに着替えました。ホテル組7人と登山組14人、2班に分かれました。ホテル組はホテルのバスでホテルへ直行。

12日(火) 三原山登山と市内観光

3台のレンタカーに14人が分乗、雨が止むことを祈りながら10時過ぎに出発！登山口を探すのに時間がかかりました。役場に電話してようやく、登山口に到着。やはり、雨の中でも我々よりも先に5人の先着組があり、視界零との事でした。11時20分に歩き始めました。

予報通りに雨は何とか止みました。樹林帯の中なので、強風は遮断され風はありません。無線中継基地を下りると、階段が続きました。

45分ばかりで尾根道、をさらに歩くと、20分で山頂でした。

天気が良ければ素晴らし光景が見られたと思います。(標高700m)

雨、風にあおられ、山頂は狭いので直ぐに下りました。尾根道で、雨が小やみになり昼食。山頂からは直径1kmの噴火口があるらしいが見えません。勿論、南方に在る青ヶ島は見えませんでした。

下山は13時30分頃でした。雨は止みました。

八丈島の観光を開始しました。

1 番目．大坂トンネルの展望場所から海に浮かぶ八丈富士が見えました。

2 番目．大瀧浦園地の海岸の波しぶき、迫力は素晴らしい。

3 番目．南原千畳岩海岸は長さ 500m、幅 100m で八丈富士の噴火によって海に押し出された溶岩が板状に固まって誕生した海岸です。

ホテルに3時過ぎにチェックイン。1回目の忘年会、大変賑やかでした。

13日（水）八丈富士登山と市内観光

ふれあい牧場着 9時15分、また階段です。1280段を登りました。

スロープが緩やかなので楽に登れました。50分で分岐点着。楽な登山と思いましたが、分岐点から悪路の連続でした。分岐点から山頂 854m を経由し、一周1時間のお鉢巡り、(直径 400m、深さ 50m) 雨上がりの悪路を靴、ズボンに泥をつけながら歩きました。火口を覗き乍ら歩きました。浅間神社を見て昼食。

13時過ぎふれあい牧場着。八丈富士の7合目に広がる牧場です。三原山をはじめ、底土港、八重根港、三根地区、島の中心部が見られる素晴らしい展望です。また、東西の海が見られました。牛と戯れ、展望台で記念撮影。

のんびり 30分間過ごしました。

1 番目．大坂トンネルの展望場所を再び訪れました。

2 番目．名子の展望台、右手に断崖絶壁が大きく弧を描いており、右手に見渡す限りの太平洋が見えました。

3 番目．最後に登龍峠展望台です。遠くには御蔵島、三宅島、眼前には八丈富士と八丈小島、眼下には底土港、神湊漁港、三根の街並みが見えました。

登龍峠(のぼりょうとうげ)の名前の由来は下から見るとあたかも龍が昇ってくるように見えるためつけられたそうです。

車窓からは大里の玉石垣（六方積み的手法を用いて横長で規則正しく、流人が運び積み上げた石垣）とブーゲンビリアの花を眺める事が出来ました。これで観光は終わりました。3時過ぎ、ホテルに着きました。



お鉢巡り



ふれあい牧場から八丈富士



大坂トンネル展望所から八丈富士

2回目の忘年会は盛り上がりました。その後懇親会と星空観賞会に分かれました。見逃したのは黄八丈の工場と、関ヶ原の戦で敗れ流罪となった宇喜多秀家と本土に残されたその妻豪姫が二人並んで鎮座した碑です。

14日（木）

9時40分、橘丸が岸壁を離れました。帰りは昼の航海なので島が見えます。退屈しのぎに島眺めです。御蔵島、三宅島、神津島、利島、新島等、最後は大島です。橘丸は竹芝桟橋に19時50分に着きました。2日間の滞在で八丈島の見方は180度変わりました。山あり、亜熱帯植物、温泉の多い事と、温暖な気候等が気に入りました。今、島流しと言われたら喜んで行くでしょう。安彦さん、鈴木さん、山口さん、運転手の清水さん、柳さん有難うございました。



八丈島と八丈小島

金時山

令和5年12月23日(土)

伏見 純子(記)

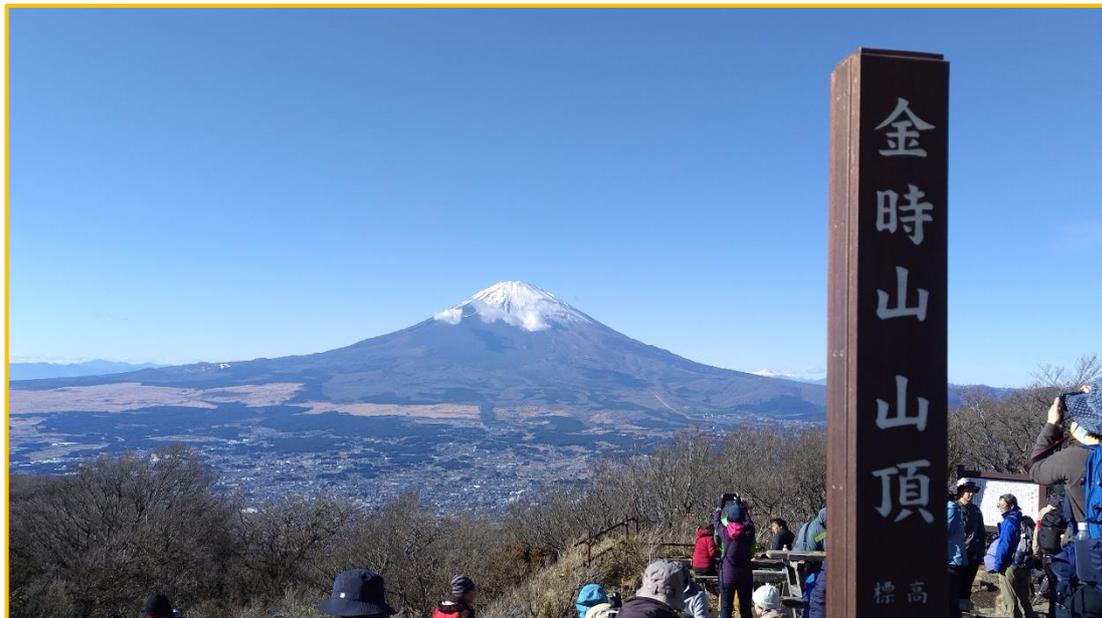
何年振りかに金時山に行く事になり、京成観光バスツアーにはばーちゃん5人＋熟女1人で参加しました。

津田沼から東名高速道路を走り、乙女登山口に到着。バス3台、100名が10時に登り始めました。乙女峠からも富士山を眺め、わいわいがやがやと皆楽しそうです。遥か彼方の大涌谷や芦ノ湖も眺めながら。

やがて山頂に着くと立派な『お富士山』と対面しました。山頂でランチですが100名の参加なので一杯でした。

下山は金時神社を目指して下ります。前方には11月に会山行で行ったであろう明神、明星ヶ岳の尾根道が見渡せたりと12月下旬なのに春の陽気でした。

帰りの高速道路ではコロナ後初めて、都心の夜景を車窓から堪能しました。とても楽しい1日でした。



北八ヶ岳ミニ縦走（高見石～白駒池～茶臼山～縞枯山）

蓮見久美子

12月24日～25日（1泊2日）

以前から行ってみたかった雪の八ヶ岳、ツアーを探してアルパインツアーに参加した。参加者12名、ガイド2名、合計14名。

（1日目）茅野駅集合→マイクロバスで渋の湯・・賽の河原・・高見石・・・
白駒池・白駒荘泊

（2日目）白駒荘・・・麦草峠・・・茶臼山・・・縞枯山・・・雨池峠・・・
八ヶ岳ロープウェイ→茅野駅解散

渋の湯から高見石を目指す。とりあえずアイゼンは付けず歩くことになり、樹林帯の中を登り賽の河原に着いた。大きな岩の間に雪が積もっているの、用心しながら乗り越えていく。昼食はほんの10分ほどでモタモタしていたのでパンをほんの少し食べただけだった。高見石小屋のすぐそばに高見石という、これもまた大きな岩が積み重なったものがあり、頑張って登ると大展望の景色だった。でも寒い！ここからアイゼンをつけて白駒池まで下っていく。積雪は多くないが凍っているの、暫くぶりに履くアイゼンに用心しながら歩く。白駒池についた。湖面が凍っていて、歩いても大丈夫だよと言われたが、怖いのでそろそろと歩いたりしてみた。白駒荘は普通の旅館のようで、食事はしゃぶしゃぶ、フライドチキン、ケーキなどなど食べきれないくらい豪勢だった。そして館内は暖かく持参したダウンは全く使わなかった。

翌朝、白駒池の氷の上で皆そろって準備体操をしてから出発。今日もすばらしい青空だ。麦草峠から茶臼山へ向かう。ガイドさんが例年はこの辺でも、50cmくらいの積雪があるので歩くのが楽だが、今年は木の根っこが出ているので歩きづらいう。それでも標高が上がると30～40cmくらいの積雪なので、私の軽アイゼンでは歩きづらかった。茶臼山の展望台、縞枯山の展望台、どちらも強風でとても寒くゆっくりしていられなかったが、眺めは抜群で赤岳や阿弥陀岳も遠くによく見えた。北八ヶ岳ロープウェイで一気に下り、そのあと「縄文の湯」で体を温めて茅野駅に着いた。

入門コースに参加したが、歩行時間も長く予想以上に大変だった事、アイゼンの使い方や衣服調整の仕方、休憩の取り方など学習できた事がよかった。



三浦アルプス登山【ハイキング】

日 程：1月11日（木）

参加者：小林、菅谷、加藤、桐生、間瀬、鈴木か、嶋本、羽鳥、山口、佐藤

佐藤 賢一

当日は曇り空で北西の風が非常に強く寒い一日でした。
当初の予報では雨の心配もありましたが、無事に予定通りの山行になりました。
参加者は、体調不良の方もいらっしゃり、当初より減ってしまいましたが総勢10名での山行になりました。

登り始め、いきなりの急な登り坂、標高は低いが何箇所かロープでの登り下りがあり、想像以上に起伏がありました。
下山地点の東逗子まで、距離があり体力がいました。
山道は民家に沿った場所があり、特徴的で、眺望は富士山や相模湾、海上自衛隊の港なども望め、飽きずに楽しめました。

今回山行の担当者に任命されましたが、ほとんどお手伝いできずに心苦しかったです。皆さんから手助けして頂き本当に助かりました。
山行中は地図の見方なども手ほどきを頂き、勉強になる事が多かったです。
三浦アルプスは電車で2時間程と割と近いのもあり、又登ってみたい山となりました。



乳頭山頂にて

高尾山(初詣山行)

1月17日(水)

参加人数 13人

村田綾子

晴天の中、高尾山口駅出発(9:15)、稲荷山登山口から入る。20年位前と違うのは、登山道の7~8割位が植生 keep の為の木製階段に変わっている。下見の時とは大違いで人が少なく空いていたので、階段の少ない歩きやすい道を選びビジターセンターに向かい頂上を踏む。(11:30~12:15)
素晴らしい富士山を眺めながらの昼食は最高！
薬王院参拝を済ませ、下山はケーブルカーを希望する人もいないので全員で、コンクリートの傾斜の1号路を避けて2号路をゆっくり下り、琵琶滝の6号路から高尾山口駅到着。(14:15)

【薬王院】 高尾山薬王院有喜寺 真言宗智山派 大本山(関東三大本山)
744年(1200年前) 行基(東大寺大仏造立者)が開山



高尾山

日 程：令和6年1月17日(水)

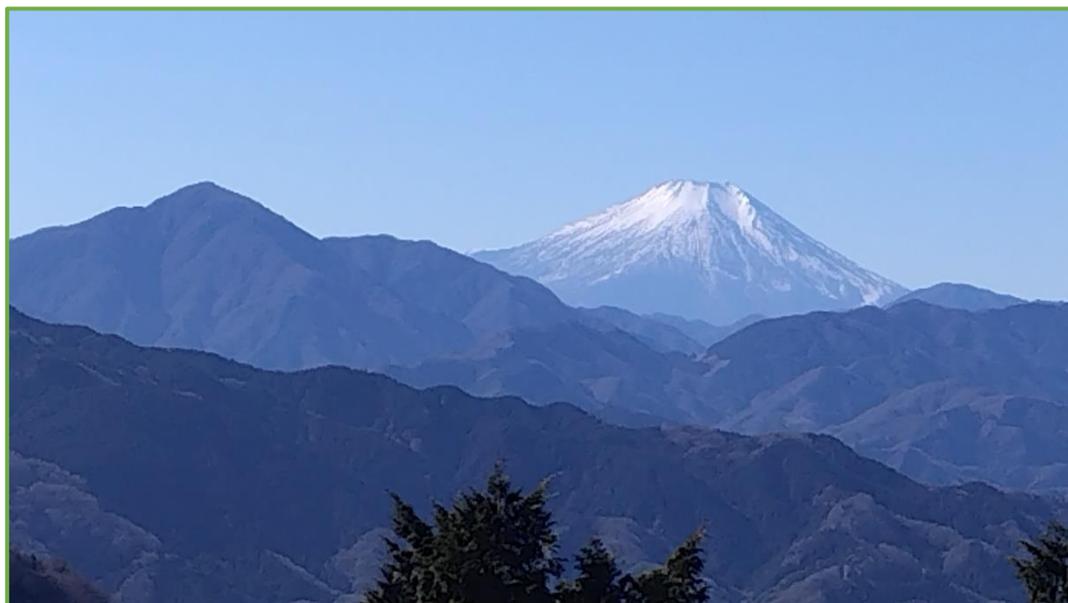
参加者：安田、村田、加藤、村上、間瀬、鈴木か、四元、岡田、野沢、山口、井上勝、桐生、伏見(記)

高尾山口9時集合。13名でピリッとした空気の中、稲荷山コースを登り始める。昨年の7月に来た時には稲荷山までは階段は無かったと思いましたが、山頂まで階段でした。このコースは下山に使用した方が良さかな。

山頂直下で知らないおじさんに「この下にシモバシラが有ったよ」と情報を頂き、行って見ると少し有りました。今日は暖かいので期待はしてなかったのがラッキーでした。山頂から富士山をおかずにして楽しいランチ、皆で食べるにとっても美味しいね。

新年早々に悲しく、痛ましい事が有りましたので薬王院で「世界が平和で楽しい日々になりますように」と、自身も「ゆっくりでもいいから、この1年山歩きが出来ますように」と、お参りをしました。無事琵琶滝に下山しました。

新年に当たりとても嬉しかったのは、東葛の先輩「村上和子」ちゃんと歩けた事です。ここ数年誘っても自信が無いからとスルーでした。これからは誘ったら絶対に行こうね。「和ちゃん」約束だよ。



昭和村便り（7）

井上順之

ここ昭和村赤城台地は、戦後入植した開拓団の自然との壮絶な戦いの歴史がありました。「やまびこ」にふさわしい内容では有りませんが、入植当時から保健婦として活動された方の手記を読み、厳しかった生活から這い上がった開拓者の生き様に深く感銘を受けた為、その一部を紹介させていただきます。

昭和村の赤城山北山麓は「赤城台地」と呼ばれ、水が無く人の住めない所だったため、旧陸軍の演習地でした。終戦直後、マッカーサーの指令により、食料の緊急増産の為の開拓地に指定され、復員軍人、罹災者、引揚者達が入植、雑木林の原野が切り開かれて行きました。

一戸当たり2.6ヘクタール（約8000坪）という広大な荒地を与えられ、先ずは伐採した木立を柱に、萱で屋根を葺き、壁を造り、雨露をしのぐ9尺×2間の掘っ立て小屋の建設から始まりました。小屋の中は、土の上に板を並べ、むしろを敷き、長さ90cm程の丸太を四角に囲った囲炉裏を作り、鉤竹をつるして鍋釜に利用。雨が降ると雨漏りがひどく傘をさしてしのぎ、冬になると北風が吹き込み、粉雪が舞い込んで布団の上が白くなる程でした。

多くの人が「にわか百姓」でした。満足な農機具がない中で、日の出と共に働き出し、手元が暗くて見えなくなるまで鍬を振るい、真っ暗な小屋に帰って手探りでランプに火を付け、粗末な夕食で命をつなぎました。過酷な生活の中、水が無いのが、過重労働に拍車を掛けました。2～3Km離れた限られた湧水場所から、背負い梯子で水を運ぶのは女子供の日課。その水は命の次に大切なものと、米のとぎ汁で茶碗を洗い、次は野菜、最後に鍋釜という風に大切に使いました。風呂は屋外に作られたドラム缶の五右衛門風呂。雨水を利用したので、雨が降らなければ使えません。順番に何件もの家族が利用する為、終わりのころには垢が浮き、湯からそっと体をゆすって上がったそうです。

幼児は、親が畑仕事をしている間は柱に繋がれ、手を掛ける事が出来ません。おむつから漏れた便を踏みこねまわし、ウンチまみれになっている事も有ったそうです。過酷な労働と栄養失調で病気寸前でも、黙々と鍬を振っている開拓民の姿に、保健婦として何とかしなければと必死の思いで、一人一人に寄り添って活動されて来た方の手記でした。



赤城山北側山麓に広がる昭和村の開拓地、手前平坦地は沼田市、間に片品川が流れている

一月を振り返って

羽鳥健一郎

元旦の年賀メールに高校の同級生の訃報を知りぬ
去年の夏干物求めて冷やかした輪島朝市無惨に焼ける
畑にて抜きし大根正月の脛なますとなりて脇役果たす
子と孫が集う正月椅子足らず近所の息子持参して来
初登り宝篋山の頂でニギリ頬張り「駅伝」を聞く
霜に耐え実りしカブの初洗い実習生とパート仲間と
八十路まで歌うと言いし八代亜紀逝きて「舟歌」しみじみと聴く
新任の短歌講師の配りたる手書きの紙に人柄にじ滲む
富山へ水仙の花咲き誇る福満寺より登り始めん
富山をおりて立寄る道の駅柚子と金柑土産に求む



思い出の山

塔ノ岳（丹沢表尾根）

山岡 みや

塔ノ岳へは、表尾根を経て登ることにした。まず、ヤビツ峠から富士見橋を通り二の塔へ進んだが、階段やガレ場の登りはややきつかった。この付近は、夏にはイワカガミやヤマユリが咲き目を楽しませてくれた。次の三の塔の山頂は広く、眺望もよく富士山を眺めながら一息入れるに丁度良い所でゆっくりと休憩した。三の塔からは、クサリの急坂を緊張して下り、更に尾根通しの小さい登降をくり返し行者岳へと進んだ。小さなピーク越えの繰り返しは緊張の連続だった。キレットを越え、木の又大日を越えて塔ノ岳に到着。

塔ノ岳の山頂からは、大山や相模湾・富士山等の展望が素晴らしい。

塔ノ岳は、けっこうきつい登り降りが続くが、展望がよく好きな山だった。

冬の塔ノ岳に1泊2日で登った時の事。前日は曇り空であったが、雨は大丈夫だろうと山友と表尾根から塔ノ岳に登った。すると夕方から雪が降り出し一晩でかなりの積雪になっていた。2日目の計画は、鍋割山を登って大倉における予定だったが、雪は朝にはやんでいたので、昨日登ってきた表尾根を下る事にした。何とか雪をかき分け、かき分け歩き、ようやくヤビツ峠に着いた。

ここからもう大丈夫、バスで帰ることができるかとホッとしたら、なんと、バスは、雪の為運休とのこと。タクシーはもちろんないし歩くより方法はない。仕方なく、雪道を秦野駅まで3時間ほど歩いた。

これも思い出に残る山となった。



表尾根からの富士山の雄大な眺め

3月号は村田さん、4月号は間瀬さんです。前月の20日を目安に加藤までお願いします。

ちょっと一言

野菜作りは楽しい

山岡 みや

10坪ほどの畑を不動産屋さんから借りて野菜を育てている。この畑は、3回目に借りた畑で、最初は、退職して間もなく「畑をやらないか」と、友人から声がかかり二つ返事で借りることになった。

隣の畑では、高齢の2人の男性がそれぞれ耕していた。野菜作りは手慣れたもので上手だった。一仕事終わると2人で、たばこをふかしながら楽しそうに話をしていた。2人とも戦争に兵隊として出征したのでその話などをよくしていた。間もなく2人とも亡くなり、次に近くの女性が借りることになり、いろいろと教えてもらった。

しかし、この畑は地主さんの都合で返すことになり、もう畑はダメかと思ったら、隣の空き地を借りることができた。

2回目の畑は住宅地の中で、仕事をしていると、学校から帰った小学生が珍しそうにこちらを見ている姿があった。私も子どもの姿が懐かしくなり「勉強で好きな教科は何？」とか「給食おいしかった？」などと話しかけたりすると、ニコニコして答えてくれた。度々遊びに来て虫の事等をおしゃべりした。2年足らずでこの畑も終わりになった。

もう少し畑をやりたいと思い、不動産屋さんから借りることとなったのが今の畑である。ここは、10人位の人達が借りている。みんな熱心に耕し、様々な種類の野菜を育てているが、草取りをしっかりとするらしく、どの人の畑にも草一本生えていない。

今は、秋に種まきした葉物類が育ち、食材として役立っている。

野菜作りを始めて十数年、種をまき、花が咲き、実になるまでの作業はきついが楽しくもある。野菜をご近所さんに配って喜ばれ、あいさつ程度だった近所づきあいから、親しく井戸端会議をするようになったことは畑があったからだ。



長く辛い冬

前田 延津子

毎日、目にする能登地震の惨状、避難生活の辛さには胸が痛みますね。早く救助の手が行き渡ります様に祈らずにはおられません。

またいつものことながら私にはこの時期 20 歳過ぎまで過ごした新潟の冬もつらい思い出として残っています。

来る日も来る日も曇り空から雨、雪が降り冬はこういうもんだと思っていた子供の頃。

それが日本海側の天気の特徴で太平洋側は毎日乾いた晴天の日が続くと知った時の驚き。

晴れた日の青空を雪国に住む人々にも分けてあげたい。

早く暖かい春が来るのを待ちわびる毎日です。「何事も辛抱強く待つ」。

梅の花、蠟梅の花の開花とうれしい便りもちらほらと聞こえてきます。待ちましよう春を。



3月号の担当は村田さんと間瀬さんです。

(2月20日をメドに柳 嗣穂宛て原稿をメールにて送付お願いします。)

(ヤナギ ツギホ norinatsu1130@gmail.com)

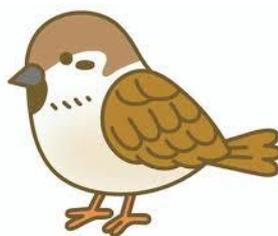
編集後記

2024年元旦、除夜の鐘を聞き終え新年を迎えて『やまびこ新年号』の配信を会員に行い、今年こそコロナに影響されずに良い年にしたいな等と思いながら床に就きました。起床後毎年の新年の行事でお雑煮とお屠蘇で始まり夕方にはほろ酔い気分で、明日の家族新年会での孫のお年玉などを準備していたら地震速報、能登でマグニチュード7の地震の速報があり被害が少ないと良いがと思っていると時間を追うごとに被害は拡大、翌日には羽田で航空機の衝突事故。こちらは海上保安庁の機体に乗っていた6人のうち5人が死亡という大惨事でした。2024年はどのような年になるのかちょっと不安も過りましたが、気を取り直して今年は希望を持った明るい年になる様に頑張っようと思います。

Toshi.S

暮れに大きくなりすぎたキンモクセイの枝をバッサリ、丸坊主に。庭が明るくなったのはいいが思わぬことが、小鳥たちがさっぱり来なくなりました。スズメ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ムクドリ、ジョウビタキ等たまにメジロがかごの中のミカンを食べに来るくらい。あんなに一日中賑やかに出入りしていたのに。緑がないとこんなにも違うんですね、人間の都合だけで物事を決めてはいけないと反省。寂しい冬の庭となりました。

前田えつこ



原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォントサイズ MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月20日までをお願いします。

<担当>鈴木か、山岡

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。

発行日 令和6年2月1日

発行者 東葛山の会

会長 安彦 秀夫

編集 会報部